

令和4年度  
事業報告書

自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月31日

公益財団法人佐賀県産業振興機構

# 目 次

第1	令和4年度事業体系.....	1
第2	令和4年度事業報告.....	3
1	新しい産業の創出・新分野進出支援等による経営革新・経営改善に関する支援（公1）.....	3
2	設備投資支援、取引先拡大支援・人材育成支援及び情報提供による経営基盤の強化に関する支援（公2）.....	19
3	県内中小企業の福利厚生の充実を促進し、人材確保や定着化を図ることによる企業活力の維持・向上に関する支援（公3）.....	30
4	県内中小企業の事業主及び当該企業に勤務する従業員の在職中の生活を安定させるための支援（他1）.....	32
5	地域産業の高度化・新産業の創出、科学技術の振興を図るために企業や大学等が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究に関する支援（公4）.....	33
6	農林水産物、加工食品等県産品の販売強化や販路開拓に関する支援（公5）.....	39
7	その他県産品販売支援に関する支援（他2）.....	47
8	収益に関する事業（収1）.....	49
第3	庶務事項.....	50

# 第1 令和4年度事業体系

●佐賀県産業イノベーションセンター

所在地：佐賀県佐賀市鍋島町大字八戸溝114番地

## 【公益目的事業1】

公1	新しい産業の創出・新分野進出支援等による経営革新・経営改善に関する支援	1	佐賀県ネクストスタートアップ創出事業	ビジネス創生支援課
		2	ものづくり企業イノベーション促進事業	ビジネス創生支援課
		3	よろず支援事業	ビジネス創生支援課
		4	さが農村イノベーション推進事業	農村ビジネス振興課
		5	さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業（新技術・新製品開発）	研究開発振興課
		6	産学官共同研究コーディネート事業	研究開発振興課
		7	さが機能性・健康食品開発拠点事業	研究開発振興課
		8	成長型中小企業等研究開発支援事業	研究開発振興課
		9	中小企業新事業チャレンジ支援事業	ものづくり振興課
		10	中小事業者新事業展開設備導入支援事業	ものづくり振興課

## 【公益目的事業2】

公2	設備投資支援、取引先拡大支援、人材育成支援及び情報提供による経営基盤の強化に関する支援	1	さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業（販路拡大補助事業）	ものづくり振興課
		2	さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業（生産性改善・高度化補助事業）	ものづくり振興課
		3	設備貸与事業	ものづくり振興課
		4	現場力向上支援事業	ものづくり振興課
		5	ものづくり産業AI・IoT導入支援事業	ものづくり振興課
		6	知財総合支援窓口運営事業	知財支援課
		7	中小企業等外国出願支援事業	知財支援課
		8	佐賀県産業イノベーションセンター施設貸与事業	総務企画課

## 【公益目的事業3】

公3	県内中小企業の福利厚生充実を促進し、人材確保や定着化を図ることによる企業活力の維持・向上に関する支援	1	中小企業勤労者福祉サービスセンター事業	中小企業勤労者福祉サービスセンター
----	--	---	---------------------	-------------------

## 【その他事業1】

他1	県内中小企業の事業主及び当該企業に勤務する従業員の在職中の生活を安定させるための支援	1	共済給付事業	中小企業勤労者福祉サービスセンター
----	--	---	--------	-------------------

●九州シンクロトロン光研究センター

所在地：佐賀県鳥栖市弥生が丘八丁目7番地

【公益目的事業4】

公4	地域産業の高度化・新産業の創出、科学技術の振興を図るために企業や大学等が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究に関する支援	1 佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター運営事業	九州シンクロトロン光研究センター

●さが県産品流通デザイン公社

所在地：佐賀県佐賀市城内一丁目1番地59号

【公益目的事業5】

公5	農林水産物、加工食品等県産品の販売強化や販路開拓に関する支援	1 県産品情報発信力強化事業	国内販売支援G I 国内販売支援G II
		2 県産品情報発信拠点運営事業	国内販売支援G I
		3 さが園芸 888 マッチング支援事業	国内販売支援G II
		4 大都市圏販売力強化支援事業	国内販売支援G II 首都圏販売支援G
		5 物産振興支援事業	国内販売支援G III
		6 県産品販売支援事業	国内販売支援G III
		7 県産品海外リサーチ・アンド・トライ事業	海外販売支援G
		8 香港エリア・東南アジア輸出支援体制強化事業	海外販売支援G

【その他事業2】

他2	その他県産品販売支援に関する支援	1 関係協議会等との連携推進事業	海外販売支援G
----	------------------	------------------	---------

【収益事業1】

収1	収益に関する事業	1 ふるさと納税に関する事業及び県産品の販売事業	国内販売支援G III
----	----------	--------------------------	-------------

## 第2 令和4年度事業報告

### 1 新しい産業の創出・新分野進出支援等による経営革新・経営改善に関する支援（公1）

#### 【事業の趣旨】

県内中小企業の振興を図るため、佐賀県内の経済及び雇用を実質的に支えている中小企業に対し、新しい産業の創出や新分野進出に対する支援、また、経営革新や経営改善に関する支援を行う。

#### 【事業の構成】

本事業は、次の事業から構成される。

- 1 佐賀県ネクストスタートアップ創出事業
- 2 ものづくり企業イノベーション促進事業
- 3 よろず支援拠点事業
- 4 さが農村イノベーション推進事業
- 5 さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業（新技術・新製品開発補助事業）
- 6 産学官共同研究コーディネート事業
- 7 さが機能性・健康食品開発拠点事業
- 8 成長型中小企業等研究開発支援事業
- 9 中小企業新事業チャレンジ支援事業
- 10 中小企業者新事業展開設備導入支援事業

#### 【公1個別事業の内容】

- (1) 佐賀県ネクストスタートアップ創出事業 [17,973千円：佐賀県補助事業]  
《担当部署：ビジネス創生支援課》

#### 【目的】

コンシエルジュ等の配置や交流事業を行い、個人や中小企業の「スタートアップ」の取組を支援する。

#### 【実績】

##### ア スタートアップ発掘・フォローアップ事業

佐賀県産業イノベーションセンターにスタートアップコンシエルジュ4名を設置。起業経験者やITコーディネータ等、それぞれの専門的知見を活かしてスタートアップを支援した。

具体的には、地域シェアオフィスや、大学などの教育機関との連携、全国各地の女性起業家リーダーとの連携によるスタートアップ事業者発掘と情報共有、佐賀県よろず支援拠点創業塾等からのスタートアップ事業者発掘等を行いました。

また、佐賀県ベンチャー交流ネットワークが実施するさがラボチャレンジ

カップにおいて、スタートアップコンシェルジュによるエントリーの促進及び支援を実施した。

更に、過年度に県の補助事業に採択された事業者に対しては、スタートアップコンシェルジュの人的ネットワークやリサーチノウハウを生かし、ユーザーヒアリングの機会の提供や効率的な情報収集手法を提案するなどのフォローアップを行った。

スタートアップコンシェルジュ業務内訳	延べ件数
継続的な県内スタートアップ等の掘り起こし	88
ビジネスプランのブラッシュアップ及び各種育成プログラム・アワードへのエントリー支援	100
県内外スタートアップ等とのネットワーキング	157
県内スタートアップ等の販路開拓支援	35
県内スタートアップ等の資金調達支援	11
スタートアップ等と企業との交流促進	14
書類作成支援及びフォロー	27
ベンチャー交流ネットワーク事業への積極的な参画	10
計	442

## イ ベンチャー交流ネットワーク事業

### ① ネットワーク事業

ベンチャー企業や起業家・創業希望者等の相互の情報交換及び産学官の各種専門家や近県ベンチャー企業との交流等を通して事業提携、事業協力の機会等を提供した。

#### 【開催内容】

- 総会・第1回例会 (R4. 5. 17) エスプラッツ (佐賀市) 参加者 56 名
- 第2回例会 (R4. 8. 26) 伊万里商工会館 (伊万里市) 参加者 43 名
- 第3回例会 (R4. 10. 31) ホテルマリターレ創世佐賀 (佐賀市)

会場参加者 64 名、オンライン参加者 6 名

さがラボチャレンジカップ 2022 (ビジネスプランコンテスト) 表彰式及びさがラボチャレンジカップの歴代受賞者による座談会に併せて、起業家による講演を実施。

- 第4回例会 (R5. 2. 16) 佐賀市文化会館 (佐賀市) 参加者約 300 名  
佐賀県ベンチャー交流ネットワーク会員企業を中心に、県内企業及び各支援機関等 38 者の出展による合同展示商談会「わくわく SAGA フェス 2023」を開催。来場者に対して、自社製品・商品・サービス、支援メニュー等の紹介やプレゼンテーションを行った。

### ② ビジネスプランコンテスト「さがラボチャレンジカップ 2022」

佐賀県との共催、今年で8回目

- 募集期間：令和4年4月25日～6月24日
- 一次審査：令和4年6月27日～8月10日  
応募総数20件のうち上位6件を一次審査通過者として選定
- 二次審査：令和4年9月13日  
6件のプレゼンテーションを実施後、受賞対象者を選定  
最優秀賞：ホンザン  
『米どころ「佐賀」は、清酒王国「佐賀」となり赤酢の産地「佐賀」となる。』  
優 秀 賞：ルアー&フライエリアフィッシングパーク平之  
『佐賀が九州のエリアの聖地になる！  
～新たな観光資源から地域創生へ～』
- 表彰状授与式 日時：令和4年10月31日 14：00～14：30  
場所：ホテルマリターレ創生 佐賀  
内容：山口知事から受賞者へ賞状（知事名）、盾を授与。
- プロモーションビデオの贈呈  
：受賞者特典である「プロモーションビデオ」を3月に贈呈

### 【指標】

- 活動指標：スタートアップコンシェルジュによるスタートアップのシード発掘 目標 6件 実績 10件
- 成果指標：支援事業の県実施のスタートアップ向け支援プログラム「Startup Gateway SAGA」各種プログラムエンターイー化。10件達成。

### 【評価】

スタートアップコンシェルジュを4名体制とし、当初目標としていた年間6件を上回る10件のスタートアップを県の各種育成プログラム（資金調達やビジネスプランのブラッシュアップの支援プログラム）へのエンターイーにつないだ。

また、県内各地での継続的なスタートアップの発掘や関係機関等と連携した取組みを強化した結果、県が目指す「佐賀だからこそ全国や世界を目指せるビジネスを創出できる地域社会づくり」の一翼を担うことができた。

## （2）ものづくり企業イノベーション促進事業 [16,020千円／佐賀県補助金]

《担当部署：ビジネス創生支援課》

### 【目的】

新型コロナウイルス感染症により社会情勢が大きく変容する中、従来の事業活動からの脱却を模索するものづくり企業に対して、外部のクリエイタ等とのコラボによる企業内イノベーションを促し、企業体力の強化を図る。

## 【実績】

佐賀県内のクリエイターやデザイナーと連携して、事業者の認知度向上のためのブランディングやプロモーション、技術の認知度向上や自社製品の販売促進のためのブランディングやプロモーションなど、下記 11 件の取り組みを支援した。

企業名	概要	補助金額 (千円)
(株)太平プレテック	チタン、アルミ等を使用した高機能・高美観金属製品の開発	1,155
本村製菓(株)	原料を小麦粉から米粉へシフトした新商品開発と百貨店取引開始	2,000
I M A R I (株)	インフルエンサーを活用したオンラインマーケティングの効果検証	1,125
(株)川原茶業	販路拡大PRツールの制作（商品及び動画・パンフレット作成）	1,822
(株)KMT e c	会社及び自社製品の認知度向上のためのHPリニューアル	2,000
(株)オフィス・タカハシ	佐賀海苔加工品の販売プロモーション	1,743
(株)キョーワ	佐賀ブランドを強みとしたキャンピングカーの製造、販売	2,000
(株)瀬戸商店	新商品（液肥）開発によるBtoC市場参入	1,420
嶺川養蜂園	嶺川養蜂園のプロモーション動画製作	637
(株)萬坊	新商品（常温長期保存商品）開発と商品のブランディング	862
(有)玉喜	屋外PR看板の設置	1,236
合 計		16,000

## 【指標】

- 活動指標：補助金採択件数 目標 8件 実績 11件
- 成果指標：初年度事業のためまだ評価はできていないが、1年後に3%の売上拡大・認知度向上を目指す。

## 【評価】

外部のクリエイターやデザイナーと組むことによって、既存製品や商品の磨き上げや新商品開発等を促進し、採択企業の新たな収益の柱の創出や組織の活性化等において一定程度貢献することができた。想定していた採択企業8社に対して、21社からの応募があるなど、デザイナーとのコラボレーションの要望や必要性に対する県内ものづくり企業のニーズに一定程度応えることができた。



### (3) よろず支援拠点事業 [86,958千円：国委託事業]

《担当部署：ビジネス創生支援課》

#### 【目的】

地域の他の支援機関と連携しながら中小企業・小規模事業者が抱える売上拡大や経営改善等の経営課題に対して、ワンストップで対応する「よろず支援拠点」を佐賀県産業イノベーションセンターに設置し、中小企業・小規模事業者の活性化を図るもの。

#### 【実績】

中小企業や小規模事業者、創業予定者等の様々な課題に対応するため、国の採択を受け「よろず支援拠点」を佐賀県産業イノベーションセンターに設置し、事業計画や販路開拓、商品開発、IT利活用、デザイナーなど幅広い分野の専門家を配置し、課題解決の支援を行った。

#### ア 相談内容及び業種

チーフコーディネータ1名、コーディネータ31名を配置し、延べ12,969件、1,232社の相談に対応した。

##### ○相談内容

I T活用（情報発信）	3,838件
経営知識	1,708件
事業計画策定	1,140件
施策活用	1,042件
広告デザイン	951件
広報戦略	1,118件
法律	300件
その他	2,872件
合 計	12,969件

##### ○相談者業種

1次産業	農林漁業	877件
2次産業	製造業	2,166件
	建設業	310件
3次産業	サービス業	3,768件
	卸売業・小売業	2,309件
	医療・福祉	617件
	宿泊業・飲食サービス業	1,239件
	その他	1,683件
合 計		12,969件

## イ セミナー開催

経営課題の解決やセミナー受講者を相談事業に誘引することを目的に当拠点のコーディネータや、よろず支援拠点全国本部サポーター等によるセミナーを191回開催。

### 【セミナーの内容例】

- ・ 個人事業主のためのインボイス制度
- ・ 食品表示の基礎
- ・ アーティストのためのPR戦略セミナー
- ・ 自社ブランディングセミナー
- ・ ネットショップのトップページ改善策の考え方
- ・ 人材戦略セミナー
- ・ 小規模事業者のためのDXセミナー

## ウ サテライト相談窓口設置

相談者の利便性向上や新たな相談者の発掘を目的に、サテライト相談所を県内8カ所（唐津市、鳥栖市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、嬉野市、有田町）設置し、延べ2,408件の相談対応を実施した。

## エ 中堅企業への成長を志向する企業への支援実証事業

成長志向の県内企業13社をピックアップし、社長等との面談により、各企業の支援ニーズとを把握し、双方合意のうえ、支援を決定。

チーフコーディネータをリーダーとする連携支援チームを立ち上げ、定期的な訪問型の伴走支援を実施した。

### 【指標】

- 活動指標：来訪相談者数及びオンラインでの相談者数  
目標 年間6,000名 実績 年間12,969名

### 【評価】

令和4年度の佐賀県よろず支援拠点への相談件数は12,969件となり、過去最高となった。

経営上の様々な課題を抱える個人事業主や中小企業に対し、ワンストップかつ無料で相談できる場を提供することにより、早期の課題解決に貢献するとともに、相談者や商工会議所等から要望のあったセミナーをタイムリーに実施することで、より成長性のある事業展開を促すことに貢献した。

また、中堅企業への成長を志向する企業への支援実証事業については、成長志向の県内企業13社に対して年間を通し、各企業に定期的に訪問したうえで企業に応じた支援を実施し、生産性の向上や売上拡大に貢献した。

#### (4) さが農村イノベーション推進事業 [23,052 千円/佐賀県委託金]

《担当部署：農村ビジネス振興課》

##### 【目的】

県内の豊富な農林水産物等の付加価値づくりや農山漁村にある資源・魅力を活かしたビジネスを、農村ビジネスとして推進している。

佐賀県産業イノベーションセンター内に「さが農村ビジネスサポートセンター」を設置し、農村ビジネスに取り組む農林漁業者等の掘り起こしを行うとともに、新商品開発や販売戦略、事業計画の策定等の支援を通じて、経営改善及び所得向上の支援を行った。

##### 【実績】

###### ア 農村ビジネスに関する個別相談、支援

コーディネータ 3 名を配置し、延べ 270 件の相談対応を行うとともに、相談内容に応じて、70 件のプランナー派遣を行った。

(相談内容)

新商品開発	44 件	16%
デザイン、ブランディング	33 件	12%
販売戦略	24 件	9%
事業計画	24 件	9%
加工製造	17 件	6%
経営管理	7 件	3%
その他 (品質管理等)	121 件	45%
合計	270 件	100%

(業種別)

農林漁業者	133 件	49%
農業法人	89 件	33%
企業	15 件	6%
行政	14 件	5%
その他	19 件	7%
合計	270 件	100%

###### イ 研修会の開催

###### ①人材育成研修会 (対面・オンライン同時開催)

(9月2日グランデはがくれ [佐賀市]、27名参加)

SDGs (持続可能な開発目標) への関心が高まっていることから、農村ビジネスに取り組むうえで必要なSDGsに関する基礎知識や実践事例について、食の6次産業化プロデューサー武下浩一郎氏、合同会社Light gear代表 山本卓氏を講師に研修会を開催。

②伊万里・西松浦地区直売所・加工所「販売促進研修会」

(5月23日、伊万里総合庁舎で開催、15名参加)

佐賀県よろず支援拠点と連携し、長引くコロナ禍で直売所の売上が伸び悩むなかで、新たな販売スタイルの構築や商品構成、レイアウトの変更による販売促進につなげるための研修会を開催。

③現地見学会「食品機械と原材料総合展 2022」

(6月30日、グランメッセ熊本で開催、17名参加)

コロナ禍での新たなニューノーマルに対する新しい事業や販売チャンネルの発掘、コロナ後を見据えた農村ビジネスの取組みに資するため、農村ビジネス実践者を対象に展示会への見学会を開催。

④HACCP対応施設見学&セミナー

(7月1日、HACCP認証協会研修センター[福岡県筑後市]で開催、17名参加)

令和3年6月から原則としてすべての食品等事業者に対してHACCPに沿った衛生管理の導入が求められることになったことから、さが県産品流通デザイン公社と連携し、加工品製造、販売に取り組む農林漁業者等を対象に、施設見学会及びセミナーを開催。

⑤藤津・鹿島産直協議会「顧客満足度向上研修会」

(7月5日、吉田まんぞく館[嬉野市]で開催、11名参加)

佐賀県よろず支援拠点と連携し、店舗運営コンサルタント松重栄次氏を講師に、地産地消の拠点としての役割を果たしている直売所の販売員を対象に、接客スキルの向上を図るための研修会を開催。

⑥グリーンツーリズム研修会

(8月4日、くすきの杜[伊万里市]で開催、28名参加)

都市農山漁村交流活性化機構(まちむら機構)宍戸信一氏を講師に、長引くコロナ禍で集客の影響を受けている農家民宿等グリーンツーリズム実践者を対象に、コロナによる旅行価値観の変化とポストコロナに向けた戦略についての講演と、県レベルでのグリーンツーリズム実践者のネットワーク構築に向けた研修会を開催。

⑦“発信力”向上セミナー

(基礎編、9月15日 佐賀県産業イノベーションセンターで開催、10名参加)

(応用編 2月6日 道の駅しろいしで開催、11名参加)

佐賀県よろず支援拠点と連携し、SNSによる情報発信が重要となるなかで、農林漁業者自らが動画を作成、発信することにより販売促進につなげるための研修会を開催。

## ウ 交流会の開催

○異業種交流会「専門家とつながる交流会」

(11月29日「ガーデンテラス佐賀ホテル&マリトピア」で開催、52名参加)

佐賀県産業イノベーションセンターに登録している専門家6名(佐賀県よ

ろず支援拠点、知財支援課を含む) とさが県産品流通デザイン公社から専門分野や支援可能な相談内容、実際の支援事例の紹介及び名刺交換会&フリートークにより農林漁業者等との交流を図った。

**【指標】**

- 活動指標：研修会、交流会の開催回数 目標 6回 実績 9回
- 成果指標：農村ビジネスの新たな取組みの増加  
目標 15件 実績 15件

**【評価】**

農林漁業者等を対象に、コーディネータによる個別相談や他支援機関と連携して研修会、交流会を開催することで、農村ビジネスに取り組む農林漁業者等の掘り起こしのきっかけとなった。また、新商品開発、販売戦略等の支援を行うことにより、農村ビジネスの新たな取組みが 15 件成立するなど、農林漁業者等の所得向上と農山漁村地域の活性化に繋がった。

**(5) さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業（新技術・新製品開発）**

**[18,491千円：佐賀県補助金]**

**《担当部署：研究開発振興課》**

**【目的】**

県内の中小企業者が行う研究開発において、デジタル化、グリーン化又は県の施策に資する事業を中心とした新技術・新製品の開発や基盤技術の高度化に挑戦する取組等を支援する。

**【実績】**

企 業 名	概 要	補助金額 (千円)
(株)ゼネシス	温度差発電におけるタービン出力向上のためのインライン型過熱器の開発 【グリーン化】	5,000
武井電機工業(株)	画像処理を用いた深層学習によるレーザ加工条件の最適化技術の開発 【デジタル化】	2,925
(株)大石膏盛堂	薬物の保存安定性及び皮膚浸透性を向上させるドラッグデリバリーシステムの開発 【コスメティック構想】	2,399
ヒノデホールディングス(株) R&D 総合センター	アルミ鋳物の欠陥寸法と疲労限の関係性把握(疲労設計手法の開発) 【グリーン化】	1,529
森鉄工(株)	プレス機のモニタリングシステムによる予防保全・遠隔監視機能の構築 【デジタル化】	3,048

企業名	概要	補助金額 (千円)
(株)ユニティクス	発電及びユーティリティ設備最適利用による スマート農業実証検証システムの製作 【デジタル化】	3,588
合計		18,489

### 【指標】

- 活動指標：補助金採択 目標 6件 実績 6件
- 成果指標：支援案件の50%以上が5年以内に事業化達成  
実績 過去5年間で27件支援し、事業化8件 (29.6%)

### 【評価】

各企業がそれぞれの研究開発の目的を達成し、デジタル化・グリーン化に向けた技術の高度化や新製品開発を進めた。なお、支援した案件については、今後のさらなる研究開発や事業化に向け、引き続き支援していく。

## (6) 産学官共同研究コーディネータ事業 [9,530千円：佐賀県補助金]

《担当部署：研究開発振興課》

### 【目的】

県内企業のニーズと大学等の研究シーズのマッチングを図るコーディネータ機能を整備し、産学官の共同研究等により、新技術の開発及び新産業の創出を目指す。

### 【実績】

#### ア 科学技術コーディネータの支援実績等

新技術の開発や新産業の創出を促進するため県内企業のニーズと大学・公設試等のシーズをマッチングするコーディネータを配置し、産学官の共同研究等を支援した。

#### ①プロジェクト相談・推進等 延べ138件

##### 【内容】

- ・技術相談 20件
- ・プロジェクト・補助金相談 48件
- ・プロジェクト推進 36件
- ・シーズ及びニーズ調査 4件
- ・その他 30件

#### ②研究プロジェクトの企画提案支援 8件

- ・さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業  
新技術・新製品開発補助事業費補助金 6件
- ・令和4年度成長型中小企業等研究開発支援事業 2件

③表彰制度への推薦等 5件

- ・第9回佐賀さいこう企業表彰への推薦 2件
- ・令和5年度世界に飛びたて佐賀ものづくりびと表彰への推薦 3件

※令和4年度の受賞実績（令和3年度に推薦）は以下のとおり

第9回ものづくり日本大賞（九州経済産業局賞受賞2件）

- ・「ハードウェアとソフトウェアを融合させた新しいICT地盤改良機の開発」

受賞者：(株)ワイビーエム及び(株)ワイシステムサポート所属の7名

- ・「ギアスカイビング加工方法を利用した大型歯車加工機械の開発」

受賞者：(株)唐津プレシジョン所属の6名

イ 知財ビジネスマッチング支援事業

大手企業等が保有する開放特許を活用して新製品開発や新事業展開等へと繋げるため、大企業の開放特許の紹介を行う知財ビジネスマッチングセミナーを開催した。

○日時：令和4年10月20日

○場所：ホテルマリターレ創世

○参加人数：71名（会場30名、オンライン41名）

○内容：①基調講演「株式会社リコーが保有する開放特許の紹介」

株式会社リコー デジタルサービス開発本部 向後 麻亜子 氏

②大企業の開放特許紹介

佐賀県産業イノベーションセンター 田中 久

【指標】

○活動指標：研究開発プロジェクトの支援 目標 80回 実績 138回

知財関連のセミナー開催 目標 1回 実績 1回

○成果指標：国や県の補助事業を活用して支援した案件の50%以上が5年以内に事業化

実績 過去5年間で、

・サポイン・Go-Tech（国事業）4件で事業化1件（25%）

・きらめく補助（県事業）27件で事業化8件（29.6%）

【評価】

科学技術コーディネータを中心に、県内ものづくり企業からの相談対応、共同研究機関のマッチング、補助金申請支援や各種表彰制度への推薦等を行い、企業の技術の高度化や新製品開発に向けた取組を支援できた。支援した企業の取組については、今後のさらなる研究開発や事業化に向け、引き続き支援する。

## (7) さが機能性・健康食品開発拠点事業 [60,579千円：佐賀県補助金]

《担当部署：研究開発振興課》

### 【目的】

佐賀県内において、付加価値の高い新産業の創出等を図るため、県内中小企業等が産学官の共同研究等により行う機能性・健康食品及びコスメ関連分野の新製品・新技術開発を支援する。

### 【実績】

#### ア コーディネート事業

2名のコーディネータにより、企業ニーズの掘り起し、研究者シーズとのマッチング、共同研究支援から新商品企画までつながるコーディネート活動事業を行った。

・技術相談、シーズ・ニーズ調査等 276件

#### イ 情報提供活動

セミナー等開催3回（延べ182名が参加）

##### ①セミナー

日時：令和4年7月14日

参加者数：44名（会場26名、オンライン18名）

内容：食品機能性研究に係る講演等

##### ②センター成果事例発表会

日時：令和4年10月20日

参加者数：71名（会場30名、オンライン41名）

内容：事業活用をした事業者による成果事例紹介（1社）

##### ③事業成果報告会

日時：令和5年3月1日

参加者数：67名（会場40名、オンライン27名）

内容：さがフード&コスメラボのこれまでの成果報告

#### ウ コスメ技術開発・人材育成拠点整備

化粧品先端技術の研究で実績のある専門家を配置し、佐賀大学化粧品科学共同研究講座において企業等の技術開発や研究を支援した。また、コスメ産業に対する高校生の興味関心を高めることを目的にセミナーを開催した。

○佐賀大学共同研究講座における企業等との共同研究12件

○高校生向けセミナー2回（延べ182名が参加）

#### エ トライアルユース事業費補助金

県内中小企業等が機能性・健康食品の開発に取り組みやすくなるよう、初期段階の研究に係る経費の一部を補助した。



企業名	概要	補助金額 (千円)
(株)サンテ・フローラ	自社製品(チョコレート)の機能性表示に向けた栄養成分等の分析	400
たにぐちファーム	ハウス栽培ミニトマト6種類の成分分析	92
井手食品(有)	高オレイン酸大豆を活用した味噌の成分分析	181
グレイスファーム(株)	白色アラギキクラゲ抽出物質の吸水性の評価及び成分分析	190
合計		863

#### オ 農林水産物・食品等の機能性研究に係る予備的研究等助成事業

大学等研究機関に地域資源の機能性等に関する予備的研究を助成した。

機関名	概要	補助金額 (千円)
宮崎大学	佐賀県農林水産物の抗メタボリックシンドローム作用探索試験	1,000
合計		1,000

#### ○事業化実績

当該事業の効果として、コーディネータによるマッチング支援により以下が商品化。

企業名	商品名	価格 (税込)	発売時期
大串製菓店	桑菱茶ぼうろ	108円	令和4年4月
	大豆あんぱん饅頭	92円	令和4年10月
(株)ディーアンドシー	冷凍ピザ「ピゼッタ・ピザッタ」	285円	令和4年4月
(株)スティルダム・サガ	「スティルダム・ジン」	4,620円	令和4年7月

#### 【指標】

○活動指標：事業化マッチング 目標 10件 実績 22件  
初期研究等の支援 目標 3件 実績 4件

○成果指標：補助事業で支援した初期研究の50%以上が5年以内に事業化  
実績 初期研究等(トライアルユース)14件で事業化4件(28.6%)

#### 【評価】

コーディネータによる支援で食品関連事業者の商品開発に貢献できた。また、トライアルユース補助金による支援が事業化に結び付いた。

## (8) 成長型中小企業等研究開発支援事業 (Go-Tech 事業)

[104,177 千円 : 国補助金]

《担当部署 : 研究開発振興課》

### 【目的】

県内ものづくり中小企業が行う精密加工、立体造形、表面処理等の基盤技術の高度化に資する研究開発から事業化までの取組を支援し、企業の競争力強化と新事業創出を推進する。

### 【実績】

国の競争的資金である当該事業に対し、新製品・新技術を志向する県内中小企業等からの申請、共同研究体の構築等を支援。採択後は、進捗管理や補助金事務を行いながら、研究開発の一貫支援を行った。

(1) B I Z Y M E 株式会社 (伊万里市) 【令和3年度～5年度】

「希土類合金微細化技術を用いた重希土類フリー磁石の適用によるEV向け小型高効率アモルファスモータの開発」

- ・研究実施機関 : BIZYME(株)、明和製作所、佐賀大学
- ・補助金申請額 : 9,740 万円 (R3～5年度合計)

(2) 株式会社唐津プレシジョン (唐津市) 【令和4年度～6年度 (予定)】

「振動解析及び刃具解析を用いた次世代型ギヤスカイビングマシンの開発」

- ・研究実施機関 : (株)唐津プレシジョン、産業技術総合研究所、佐賀大学
- ・補助金申請額 : 9,710 万円 (R4～6年度合計)

(3) 株式会社ゼネシス (伊万里市) 【令和4年度～6年度 (予定)】

「地球規模の冷熱資源である海洋深層水の革新的取水技術の開発」

- ・研究実施機関 : (株)ゼネシス、山口産業(株)、佐賀大学
- ・補助金申請額 : 9,750 万円 (R4～6年度合計)

### 【指標】

- 活動指標 : 国への申請 目標 1件以上 実績 2件
- 成果指標 : 目標 採択案件の50%以上が5年以内に事業化  
実績 過去5年間の採択4件で事業化1件 (25%)

### 【評価】

当該事業に取り組むため産学官の共同研究体を構築し、当財団が事業管理機関となって支援した結果、支援企業においてそれぞれの研究開発が計画どおり推進できた。今後の事業化を目指し、引き続き支援していく。

## (9) 中小企業新事業チャレンジ支援事業 [235,824 千円：佐賀県補助金]

※令和5年度継続事業：令和4年度実績及び令和5年度総事業予算 741,550 千円（予定）

《担当部署：ものづくり振興課》

### 【目的】

長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、人々の生活様式や消費行動、企業活動など社会経済が大きく変化するなか、新分野展開や事業転換、新商品の開発など前向きなチャレンジを行う中小企業を支援する。

また、原油・原材料・エネルギーの高騰等により、収益が悪化している中小企業の収益力強化を図る。

### 【実績】

新分野展開や事業転換、新商品の開発など前向きなチャレンジを行う中小企業の取り組みを 137 件採択し、補助金額は 216,070 千円となった。

	R4 年度 1 回目
申請件数	447 件
補助件数	137 件
補助金額	216,070 千円

### 【指標】

○活動指標：補助金採択件数 目標 150 社 実績 137 社

○成果指標：初年度事業のためまだ評価はできていないが、県内企業がポストコロナにおける経済社会の変化に対応するための新たなチャレンジを行い1年後にこれまでにない新たな取引先確保を目指す。

### 【評価】

新型コロナウイルス感染症や原油・原材料価格の高騰による影響など厳しい経営環境にあっても、前向きにチャレンジしようとする事業者への後押しとなり、売上の向上や収益力の強化に寄与することができた。

また、商工会や商工会議所をはじめとする認定支援機関にも協力を要請したことにより、これまで補助事業を活用したことがない家族経営等の小規模事業者も事業に取り組むことができた。

**(10) 中小事業者新事業展開設備導入支援事業 [154,018 千円：佐賀県補助金]**

《担当部署：ものづくり振興課》

**【目的】**

新型コロナウイルスや原油・原材料価格高騰により売上や収益に影響を受けている中小事業者に対し、新事業の展開のために必要な設備導入への補助を行い、売上の向上や収益力の強化を図ることを目的とする。

**【実績】**

新事業の展開のために設備導入を実施する中小企業の取り組みを 111 件採択し、補助金額は 150,086 千円となった。

申請件数	134 件
補助件数	111 件
補助金額	150,086 千円

**【指標】**

○活動指標：補助金採択件数 目標 100 社 実績 111 件

○成果指標：初年度事業のためまだ評価はできていないが、県内企業が経済社会の変化に対応するための新たなチャレンジを行い、補助事業が終了して1年後にこれまでにない新たな取引先の確保・収益の改善を目指す。

**【評価】**

新型コロナウイルス感染症や原油・原材料価格の高騰による影響など厳しい経営環境にあっても、前向きに設備導入しようとする事業者への後押しとなり、売上の向上や収益力の強化に寄与することができた。

また、商工会や商工会議所をはじめとする認定支援機関にも協力を要請したことにより、これまで補助事業を活用したことがない家族経営等の小規模事業者も事業に取り組むことができた。

## 2 設備投資支援、取引先拡大支援・人材育成支援及び情報提供による経営基盤の強化に関する支援（公2）

### 【事業の趣旨】

県内中小企業の振興を図るため、佐賀県内の経済及び雇用を実質的に支えている中小企業に対し、取引先拡大支援・人材育成支援及び情報提供による経営基盤の強化に関する支援を行う。

### 【事業の構成】

本事業は、次の事業から構成される。

- (1) さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業（販路拡大補助事業）
- (2) さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業（生産性改善・高度化補助事業）
- (3) 設備貸与事業
- (4) 現場力向上支援事業
- (5) ものづくり産業AI・IoT導入支援事業
- (6) 知財総合支援窓口運営事業
- (7) 中小企業等外国出願支援事業
- (8) 佐賀県産業イノベーションセンター施設貸与事業

### 【公2個別事業の内容】

#### (1) さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業（販路拡大補助事業）

[9,943千円：佐賀県補助金]

《担当部署：ものづくり振興課》

#### ア 展示会等出展補助

##### 【目的】

県内のものづくり中小企業者が国内で開催される各種展示会に出展し、自社製品や自社技術の宣伝による販路の拡大を目指す取り組みに対し、経費の一部を補助する。

##### 【実績】

企業名	展示会名称（開催月）	出展した製品・技術	補助金額（千円）
株フリーマム	MONTAGE（モンダージュ展）（9月）	フリーマムランドリーソーダ（重曹の洗濯剤）、デイリーミスト（天然成分の除菌剤）、アクアミスト（植物抽出成分の消臭剤）、ヒマラヤバスソルト（入浴剤）	46

企 業 名	展示会名称（開催月）	出展した製品・技術	補助金額 （千円）
大栄工業(株)	関西ものづくりワールド 計測・検査・センサ展（10月）	画像検査装置「みえるくん」	375
(株)KMTec	危機管理産業展 2022（10月）	ポータブル蓄電池、ソーラーパネル	667
三栄興産(株)	FOOD STYLE Japan（10月）・Kyushu（11月）・Kansai（1月）	佐賀県産大麦を使用した麦茶、新たに導入した製造機を用いた昨今のニーズに応えるOEM商品開発	172
(株)香蘭社	第51回国際ホテル・レストランショー（2月）	香蘭社製陶磁器商材	700
(有)辻与製陶所	やきものワールド 2022（11月）	肥前吉田焼	700
山口産業(株)	つなぐグランドフェア 2022 九州グランドフェア、関西グランドフェア（9月）	膜構造畜舎（テント牛舎）	335
(株)ジェイ・テック	第51回国際レストラン・ホテル・ショー（2月）	紙製Vカット容器・テーブルウェア等	700
井手食品(有)	地方銀行フードセレクション（10月）	発酵アスパラ味噌、発酵たけのこ味噌	225
(株)トーセン農場	第24回ジャパンインターナショナルフードショー「国際水産養殖技術展」（8月）	オメガフィッシュ（製法特許を取得した独自の高品質魚粉）	233
(株)唐津プレシジョン	JIMTOF2022 第31回日本国際工作機械見本市（11月）	LT-1 及び GSV-18S	700
(株)金龍窯	2022“よい仕事おこし”フェア コロナに負けるな！大商談会（12月）	製品・技術：珈琲碗、陶額、骨壺、ガーデンテーブルセット	69
合 計			4,922

#### 【指標】

○活動指標：補助金採択件数 目標 10件 実績 12件

○成果指標：本事業で出展した展示会等での新規取引先獲得 目標 3件 実績 7

件。県内ものづくり中小企業の新規取引先拡大、売上拡大を図り経営の安定に貢献した。

### 【評価】

企業や製品等のPRに寄与し、新規取引先獲得、受注量アップを図ることができた。

## イ 取引拡大支援

### 【目的】

県内外発注企業及び県内受注企業に関する調査の実施や情報提供、取引あっせん、商談会の開催、展示会（機械要素技術展）への出展支援等を実施し、県内企業の取引拡大を目指す。

### 【実績】

#### ①取引あっせん状況

登録企業数		申出件数		あっせん 件数	取引成立 件数	当初成立金額 (千円)
発注	受注	発注	受注			
213	562	76	167	162	16	7,863

#### ②佐賀県受注企業名簿作成（令和5年版）

#### ③発注開拓調査 年2回（九州合同）

#### ④展示会・商談会の開催

##### ○商談会開催・参加支援 4回（県内参加企業 延べ64社）

- ・「製造技術マッチングフェア」（令和4年7月、北九州市、参加16社）
- ・「第1回佐賀県受発注商談会（対面・ウェブ併用）」  
（令和4年8月、佐賀市、参加14社）
- ・「第2回佐賀県受発注商談会（対面・ウェブ併用）」  
（令和4年12月、佐賀市、参加16社）
- ・「第3回佐賀県受発注商談会（対面・ウェブ併用）」  
（令和4年3月、佐賀市、参加18社）

#### ⑤下請かけこみ寺事業

下請取引に関する様々な問題を抱える県内中小企業者等の相談に応じ、問題解決に向けてのアドバイス等の支援を行うとともに、「下請振興法」、「下請代金等遅延防止法」等の周知や、「下請かけこみ寺事業」の周知活動を行った。

- ・相談件数 30件（うち無料弁護士相談6回）

**【指標】**

- 活動指標：取引あっせん件数 目標 100 件 実績 162 件  
取引成立件数 目標 30 件 実績 16 件  
下請かけこみ寺相談件数 目標 10 件 実績 30 件
- 成果指標：県内ものづくり中小企業の新規取引先拡大、売上拡大を図り経営の安定に貢献した。

**【評価】**

県内での商談会開催、九州合同商談会等の活用、県内外発注企業への訪問による発注案件の掘り起しにより、県内中小企業のさらなる取引の拡大につなげることができた。

**(2) さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業（生産性改善・高度化補助事業）**

**[18,026千円：佐賀県補助事業]**

《担当部署：ものづくり振興課》

**【目的】**

県内ものづくり企業が行う生産性改善・高度化につながる取組を支援し、ものづくり産業界の活性化を図り、「稼げる」ものづくり企業を創生するために、経費の一部を補助する。

**【実績】**

ものづくり事業者が行う、デジタル化又はグリーン化に貢献する取組であって、かつ、下記に掲げる事業に要する経費を補助した。

区分	企業名	概要	補助金額 (千円)
デジタル化	細渕電球(株)	LED製造工程に塗布ロボットを導入し自動化することで、工数削減を目指す	2,366
	(有)市川光山窯	鍋島焼の本窯焼成工程で、窯内のデータ抽出・保存が可能な「分析記録装置」を導入し、作業時間短縮と歩留まり率の向上を目指す	1,433
	(株)桑原畜産	温度調整機能付き冷凍庫を導入し、出荷量を細かく調整し冷凍保管体制を整えて生産性向上を目指す	2,066
グリーン化	I M A R I (株)	・新たに性能が向上したポリウレタ専用塗装機を更新し、残業時間の低減と予測塗布量算出での塗布量削減を目指す	2,500
	光栄菊酒造(株)	酒造りで使用する酒造用ネット・布類の洗浄作業を日本酒製造専用の	2,500



区 分	企 業 名	概 要	補助金額 (千円)
		洗濯機を導入することで、洗浄作業の効率化と節水によるグリーン化を目指す	
	(株)まるきん	・工場増設・レイアウト変更に伴い、空調機を導入し、電力量の削減と、作業効率・労働生産性向上、温度管理による製造不良削減を目指す	2,486
	山口産業(株)	夏場の劣悪な作業環境を改善するため、地下水クーラーを導入して、生産性の高度化を目指す	2,500
	(有)玉喜	プラスチック製のボトル型海苔容器を、約1/10の容量の袋製容器へ順じ更新するため、容器重量と金属探知が可能な測定器を導入し原価低減を進める	2,166
合 計			18,017

#### 【指標】

- 活動指標：補助金採択件数 目標 12件 実績 8件
- 成果指標：採択年度の翌年度から採択企業より「成果等活用状況報告書」にて付加価値額の報告を受けている。うち、4年目となる令和元年度採択企業5社のうち、3社は付加価値額5%向上を達成している。

#### 【評価】

デジタル化又はグリーン化に貢献する取り組みを通じて生産性改善・高度化を目指す県内ものづくり企業8社を支援するため、生産設備の更新や新規設備の導入等に要する経費を補助し、売り上げ拡大や生産コストの削減による利益の増大へ寄与した。

### (3) 設備貸与事業 [10,370千円：佐賀県貸付金・自主]

《担当部署：ものづくり振興課》

#### ア 旧設備貸与事業

小規模企業者等設備導入資金助成法（昭和31年法律第115号）が平成25年3月31日で廃止されたことに伴い、平成27年3月31日をもって新規の割賦販売又はリース（賃貸）を終了し、以降は債権管理（3件）を行っている。

#### イ 新設備貸与事業

平成27年4月1日より、独立行政法人中小企業基盤整備機構法に基づき、小

規模企業者及び創業者で経営の革新を図るため、必要な設備の導入の促進のため、佐賀県から資金を借り受け、新たに導入する必要のある設備を当公益財団が代わって購入し、長期の割賦販売又はリース（賃貸）を行ってきた。

平成30年3月31日をもって新規の割賦販売又はリース（賃貸）を終了し、以降は債権管理（令和8年終了：4件）を行っている。

#### （４）現場力向上支援事業 [16,074千円：佐賀県補助事業]

《担当部署：ものづくり振興課》

##### 【目的】

県内中小企業の生産性向上や事業拡大を図るため、生産管理・技術・経営等、企業活動に必要な分野の支援を行い、県内中小企業の経営力の強化を図る。

##### 【実績】

県内中小企業の現場力向上や生産性の向上等を目的に、3名の専門員が企業を訪問し、現場改善に対する実地の支援や、県内中小企業全体の底上げのため、専門的なセミナーの開催や若手経営者・後継者への教育「佐賀県中小企業塾」として実施した。

《活動成果の概要》

##### ①専門員による支援先支援内容

No.	企業名	支援内容
1	(有)玉喜	経営者塾（経営者・後継者教育）
2	新生工業(株)	経営者塾（経営者・後継者教育）
3	(株)一新堂	経営者塾（経営者・後継者教育）
4	ゴーマック(株)	経営者塾（経営者・後継者教育）
5	森鉄工(株)	社内改革（リードタイム短縮・原価低減等）
6	大坪産業(株)	5S活動教育
7	森永建設(株)	ISO支援
8	(株)原ノ町鉄工	経営改善支援（過去経営者塾参加企業フォロー）
9	リードうさ	経営改善支援（過去経営者塾参加企業フォロー）
10	(株)大橋	工程改善（開発案件の内製化）
11	大栄工業(株)	工程管理・不具合対応、対策
12	(株)ルミナス佐賀	工程改善

②若手経営者・後継者教育のための「経営者塾」を実施。

※企業名の後に[経]は経営者、[後]は後継者が参加

No.	企業名	支援内容
1	(有)玉喜 [後]	<p>若手経営者・後継者を対象に、経営者として身につけるべき経営知識を学ぶ。</p> <p>具体的には事業計画作成、中長期計画作成、PDCA サイクル、計画未達時の挽回策などの手法を学ぶ。</p> <p>◇年間12回の実習を交えた研修会を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1ステップ 経営課題の分析</li> <li>・第2ステップ 具体的な対策</li> <li>・第3ステップ 進捗状況の確認</li> <li>・第4ステップ 成果報告、挽回策 など</li> </ul> <p>No.4企業は9月で支援終了。</p>
2	(株)一新堂 [経]	
3	新生工業(株) [経]	
4	ゴーメック(株) [経]	

③「現場力向上」のために実施した6回のセミナー

No.	テーマ	講師	内容	参加者
1	多関節3次元測定器 & リバースエンジニアリングセミナー	ヘキサゴン・メトロロジー(株) 安部氏 植田機械(株) 瀬古氏	多関節3次元測定機による3Dモデル測定体験及びCADデータへの変換(リバースエンジニアリング)体験	5名
2	展示会での営業で成果を出す! オンラインセミナー	展示会営業マーケティング(株) 清永氏	展示会出展において、効果的な営業活動の方法など	14名
3	情報セキュリティの具体的な対策例と最新動向セミナー	(株)ストラテジア 前田氏	中小企業の情報セキュリティガイドラインを活用した指導方法と具体的な対策例	20名
4	プロセス改善のためのなぜなぜ分析セミナー	クオリゲート合同会社 代表 市原氏	品質不具合や設備の不具合の原因を、「なぜなぜ分析」を用いて追求する手法を学ぶ	20名
5	精密測定の基礎セミナー	(株)ミットヨ 福岡営業所 柳別府氏	ノギスやマイクロメーターなどの測定機器の基本的な取り扱い方法を学ぶ	30名
6	決算書の読み方セミナー	財務リスク研究所(株) 横山氏	決算書の読み方や分析の方法についての基礎を学ぶ	21名

【指標】

○活動指標：現場力改善に取り組む県内企業に対する個別支援

目標 8社 実績 12社

県内ものづくり企業の従業員のレベルアップを目的としたセミナー、勉強会、企業見学

目標 9回 実績 6回

若手経営者、後継者教育を目的とした経営者教育(経営者塾)

目標 12回 実績 12回

○成果指標：・経営改善等による企業体力の増強(利益率の向上)

製造ライン停止時間の短縮に取り組み、原因特定・作業工程改善により停止時間 51%の削減を達成し、利益率向上に寄与。

・働きやすい職場環境の整備(人財の確保)

パート作業員にフレックスタイムを導入し、職場環境の改善を実施。

・現場力改善に取り組む事業所の拡大と県内企業の県外同業種の受注競争に勝つ企業力向上

不良工程の原因特定・対策を講じ対策前 50 件が対策後 2 件程度となり、受注競争に勝つ企業力を強化に寄与。

#### 【評価】

専門技能の向上などに関するセミナー等により、参加者にもものづくりに対する新たな気づきや発見を与えるなど、人材育成等に貢献した。

また、経営者塾により経営者として身につけるべき経営知識を若手経営者・後継者が学ぶことにより、経営力の向上が図られた。

### (5) ものづくり産業AI・IoT導入支援事業

[20,777千円：全国中小企業振興機関協会補助事業／佐賀県補助事業]

《担当部署：ものづくり振興課》

#### 【目的】

県内中小企業者がAI・IoT等の技術を導入するにあたっての「現状分析」や「導入計画策定」の支援、導入後の社内人材育成支援を伴走型で支援し、県内中小企業におけるAI・IoT技術の導入促進を図る。

#### 【実績】

・(株)アンスコ 九州工場(有田町)：(支援・補助)

[主要製品：六角穴付きボルト・止めねじ、ゆるみ止め加工、加工機]

転造盤の稼働状況を確認し、生産個数カウント方法や生産個数カウントセンサーの選定、取付位置などの指導を行うとともに、Ethernetを活用した無線LANネットワークを構築するアドバイスを行った。

生産個数カウントセンサーを取り付けたことで、リアルタイムで生産個数を管理することが可能となった。結果として、ロット加工終了後に重量測定する

ことで生産個数を把握していたが、その作業が不要となり省力化を実現できた。

#### 【指標】

- 活動指標：AI・IoT導入伴走型支援 目標 8社 実績 8社  
うち補助金採択件数 目標 4件 実績 1件
- 成果指標：県内ものづくり中小企業の生産体制の現状・問題点の抽出と、AI・IoT技術の導入促進及び体制の構築を図り、1年後に導入前と比較し、10%以上の生産性向上を実現した企業が1件あった。

#### 【評価】

県内企業が持つ様々な要望に応じた支援を実施しており、支援対象となった企業は省力化が達成でき生産性が向上するなどの実績を残すことができたため、当初の目標である支援事例企業年間2社輩出については達成できた。

令和4年度に入りコロナ禍も沈静化傾向にあったため、積極的に企業訪問を行い企業のニーズを引き出し、専門員それぞれが持つ知見や実績を基に企業の要望に沿った支援を行うことができた。

### (6) 知財総合支援窓口運営事業 [20,908千円：国機関等委託金]

《担当部署：知財支援課》

#### 【目的】

県内中小企業等の知財に関する相談等を受け付ける「知財総合支援窓口」を設置し特許等の取得や活用に関する支援を行うことにより、県内中小企業等における知的財産の活用を推進して企業の発展さらには地域産業・経済の発展を図る。

#### 【実績】

中小企業等の知的財産に関する課題等の相談を受け付ける「知財総合支援窓口」において、商工団体、金融機関等との連携のもと、窓口支援担当が知財専門家（弁理士等）と協働するなどして、特許等の取得や活用に関する支援を行った。

- 窓口支援担当者4名、事業責任者1名、事務担当者1名
- 支援件数 延べ2,415件  
知財トータルサポーターによる支援
  - ・窓口での支援  
(産業イノベーションセンターでの支援) 1,604件
  - ・訪問による支援(企業等での支援) 811件
- 上記のうち専門家(弁理士、弁護士等)を活用した支援 409件
- 知財区分別 (2,822件)
  - 商標 1,871件(66%)、特許 492件(18%)、実用新案 59件(2%)、  
意匠 182件(6%)、その他 218件(8%)
- 相談者種別 (2,415件)
  - 中小企業 1,262件(52%)、個人事業主 772件(32%)、個人 57件(2%)、

- その他 324 件(14%)
- 業種別 (2,415 件)
- 製造業 822 件(34%)、農林水産業 370 件(15%)、  
卸・小売業 313 件(13%)、その他 910 件(38%)

**【指標】**

○活動指標：知財支援件数 目標 延べ2,200 件 実績 延べ2,415 件

**【評価】**

支援先企業では、知的財産権の重要性や企業経営での活用などの意識が高まるとともに、支援活動を通じて新商品や新技術の開発、ブランディングが進むなど、企業経営力の強化に寄与した。

**(7) 中小企業等外国出願支援事業 [1,466 千円：国補助金・自主]**

《担当部署：知財支援課》

**【目的】**

特許等知的財産権の外国出願に要する費用の一部を補助することにより、県内中小企業の海外事業展開を支援する。

**【実績】**

外国への事業展開等を計画している県内中小企業の特許等外国出願に対して支援を行った。

○支援件数 4 企業 6 件 (商標 6 件)

企業名	出願内容	出願件数	補助金額 (千円)
吉田刃物(株)	商標出願	2 件	262
武井電機工業(株)	商標出願	2 件	242
(有)篠原溪山	商標出願	1 件	70
(株)キーストン	商標出願	1 件	106
計 4 企業		計 6 件	680

**【指標】**

○活動指標：補助金採択件数 目標 7 件 実績 6 件

○成果指標：県内企業の海外進出、延べ国数目標 10 か国に対し、実績 6 か国となった。

**【評価】**

申請件数が少なかったものの、県内企業の海外への事業展開に寄与するとともに、企業経営力の強化に貢献できた。

**(8) 佐賀県産業イノベーションセンター施設貸与事業 [12,650 千円：佐賀県委託事業]**  
《担当部署：総務企画課》

**【目的】**

佐賀県産業イノベーションセンターの指定管理者として、県内で事業化を考え創業、経営革新、新分野進出等を目指す個人、中小企業者等が研究開発、販路開拓等の用に供するため、貸研究開発室、貸研修室を設置し、研究開発や人材育成の環境を整える。

**【実績】**

**ア 研修室貸出**

・第1研修室利用承認件数	165 件
・第2研修室利用承認件数	109 件
計	274 件

**イ 研究開発室貸出**

・入居貸出件数（年度末時点）	4 件
----------------	-----

**【指標】**

○活動指標：研究開発室利用室数 目標 全5室 実績 4室  
研修室年間利用件数 目標 170件 実績 274件

○成果指標：利用者満足度 目標 95%以上 実績 97%  
利用者数増加により、県内産業のさらなる発展と企業成長に寄与した。

**【評価】**

設置目的である技術の高度化、経営の効率化等企業の事業活動に対する支援に資するため、経費節減や利用者の満足度向上等に配慮しながら、管理運営を行った。令和4年度の研修室利用は274件（前年比167%）となり、事業活動環境の整備に寄与した。

### 3 県内中小企業の福利厚生の実を促進し、人材確保や定着化を図ることによる企業活力の維持・向上に関する支援（公3）

#### （1）中小企業勤労者福祉サービスセンター事業

[28,165千円／受取会費、佐賀県・県内市町・事業所負担金]

《担当部署：中小企業勤労者福祉サービスセンター》

##### 【目的】

事業所における人材確保や定着化に寄与し、企業活動の維持・向上を図るとともに地域経済の活性化に資することを目的とする。

##### 【実績】

###### ①会員の状況

令和5年3月末時点で、事業所数239社、会員数2,402名であり、昨年度末の事業所数240社、会員数2,467名に比べ、1事業所減少し、会員数65名の減少となった。

事業対象：中小企業事業主及び当該中小企業の従業員（会員制）

###### ②事業実績

今年度の利用者数は7,208名（昨年度比1,592名増）、助成金額13,320千円（前年度比2,464千円増）となった。

###### ア 健康増進事業

会員の健康を増進するため、人間ドック・脳ドック・一般健診にかかる費用等に助成を行った。

助成者数延べ1,300名、助成額4,403千円

インフルエンザ予防接種の助成は、前年度715人に対して今年度は670名に助成を行った。

###### イ 自己啓発事業

各施設を訪問し、サービスセンターの事業内容等を説明し、自己啓発事業を積極的にPRしたが、利用がなかった。

助成なし

###### ウ 余暇活動事業

会員等の余暇活動を支援するため、宿泊施設やレジャー施設等の余暇活動にかかる費用等に助成を行った。

助成者数延べ3,149名、助成額5,066千円

###### エ その他事業

サッカー観戦や食事券等の格安価格での販売、いちご狩り等を行った。

今年度も、新型コロナウイルス感染症対応の影響で利用人数及び助成額共に、前年度と同程度となった。

助成者数延べ2,759名、助成額3,849千円



**【指標】**

- 活動指標：新規会員の獲得件数 目標 100名以上 実績 185件
- 成果指標：サービスセンター事業の満足度  
目標 90%以上 実績 97%を達成した。

**【評価】**

令和4年度は、コロナ禍以前には戻っていないものの、宿泊施設利用補助や飲食店利用補助等が伸びた。また、余暇活動についても約2割増となり回復傾向となり、一定の福利厚生の上昇に寄与した。

## 4 県内中小企業の事業主及び当該企業に勤務する従業員の在職中の生活を安定させるための支援（他1）

### （1）共済給付事業 [5,443 千円／受取会費]

《担当部署：中小企業勤労者福祉サービスセンター》

#### 【目的】

（一財）全国勤労者福祉・共済振興協会の共済制度を活用し、県内中小企業の事業主及び当該企業に勤務する従業員の在職中の生活安定を目的とする。

#### 【実績】

① 会員数 158 社、1,425 名（令和5年3月末現在）

② 給付件数 347 件、給付額 3,955 千円

●出生祝金	31 件	310 千円	●入学祝金	119 件	1,190 千円
●結婚祝金	17 件	340 千円	●勤続祝金	100 件	1,130 千円
●傷病見舞金	12 件	180 千円	●住宅見舞金	0 件	0 千円
●成人祝金	5 件	50 千円	●還暦祝金	29 件	290 千円
●死亡弔慰金	31 件	240 千円	●死亡保険金	2 件	200 千円
●障害保険金	1 件	25 千円			

#### 【指標】

○活動指標：新規会員の獲得件数 目標 100 名以上 実績 185 件

○成果指標：サービスセンター事業の満足度

目標 90%以上 実績 97%を達成した。

#### 【評価】

会員が各種共済給付を受けることにより、県内中小企業の事業主及び当該企業に勤務する従業員の在職中の生活安定が図られた。

## 5 地域産業の高度化・新産業の創出、科学技術の振興を図るために企業や大学等が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究に関する支援（公4）

《担当部署：九州シンクロトロン光研究センター》

### 【事業の趣旨】

佐賀県立九州シンクロトロン光研究センターの指定管理者として施設を運営し、企業や大学等が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究支援等を行うことにより、地域産業の高度化、新産業の創出及び科学技術の振興に寄与する。

### 【公4個別事業の内容】

#### （1）佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター運営事業

[679, 611 千円:佐賀県委託事業等]

### 【目的】

佐賀県立九州シンクロトロン光研究センターを運営し、企業や大学等が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究を支援するとともに、光源とその利用に関する研究開発を行い、地域産業の高度化、新産業の創出及び科学技術の振興に寄与する。

### 【実績】

佐賀県立九州シンクロトロン光研究センターの指定管理者として、設置目的である「地域産業の高度化、新産業の創出及び科学技術の振興」の実現に向けて、施設設備の管理や貸与、企業・大学等が行うシンクロトロン光を利用した研究開発の支援、シンクロトロン光の光源とその利用に関する研究開発、諸活動によって得られた知見等の成果普及を行った。

### ①施設貸与・利用支援

#### ア 利用支援

##### ●利用実績（県有ビームライン）

区 分	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	件数	時間数	件数	時間数	件数	時間数
全 体	153 件	2,872.0 時間	177 件	3,747.0 時間	151 件	3,130.5 時間
うち県内利用	48 件	848.0 時間	48 件	969.0 時間	43 件	939.0 時間

●利用種別内訳

種 別	全 体		うち県内利用	
	件数	時間数	件数	時間数
素材・原料	32 件	512.0 時間	4 件	21.0 時間
電子デバイス	58 件	1,282.5 時間	26 件	618.0 時間
資源・環境	11 件	230.0 時間	1 件	2.0 時間
エネルギー	17 件	329.0 時間	-件	-時間
ディスプレイ	2 件	52.0 時間	-件	-時間
農林水産・食品	18 件	218.5 時間	7 件	77.0 時間
バイオメディカル・健康	10 件	197.5 時間	5 件	79.5 時間
微細加工	3 件	28.5 時間	3 件	28.5 時間
その他	2 件	22.0 時間	2 件	22.0 時間
計	153 件	2,872.0 時間	48 件	848.0 時間

●施設利用料収入内訳

施設区分	内 容	利用料金額
県有ビームライン	県有ビームラインの実験利用 (153 件)	22,851,300 円
他機関ビームライン関係	他機関ビームライン設置 (ホール使用、ビーム利用、研究室・実験準備室使用、電気料)	49,683,952 円
会議室、セミナー室	セミナー室 (1 件)	5,600 円
宿泊室	延べ宿泊数 579 泊	1,158,000 円
計		73,698,852 円

イ 利用促進

(ア) 県内利用の促進

○産業利用コーディネータ活動

コーディネータを配置し、県内企業の訪問や利用課題の発掘、課題解決策の検討、企業への提案活動を行いながら、県内企業等の利用促進に努めた。

- ・企業訪問による課題の把握 (延べ訪問件数 243 件、106 企業・機関)
- ・課題解決に向けた検討会の開催 (12 回)
- ・企業支援業務の実施 (9 件)
- ・シンクロ利用新規開拓 (8 件)

○包括利用制度の運用

シンクロトン光を利用した分析のための体制が充分でない県内企業の利用を促進するため、実験計画の策定、測定作業、報告書作成等、研究活動を包括的に当センター研究員が行う「包括利用制度」を運用し、産業利用コーディネータを通じて県内企業への制度周知と利用案内を図った。

(利用実績 5 件)

○施設見学会-利用支援セミナーの開催

	概 要	開催日	参加者数
2022 年度第 1 回	・施設概要の説明と利活用事例の紹介 ・実験ホールの見学、実験装置の紹介	6 月 13 日	32 人
2022 年度第 2 回	・施設概要の説明と利活用事例の紹介 ・実験ホールの見学、実験装置の紹介	2 月 27 日	24 人

○県試験研究機関との連携

農業試験研究センターなど県試験研究機関との連携による地域課題の解決を支援した。(農業試験研究センター、工業技術センター、果樹試験場、林業試験場)

また、県の基幹産業である農林水産の各分野における研究利用を促すため、農林業試験研究機関連絡会(6 機関)と水産振興センター(2 機関)への個別訪問・意見交換も実施した。

○産業課題研究の推進

産業界、大学、研究機関等が参加して、共通する産業課題を設定し、連携しながら研究を実施した。

【主な活動】

- ・課 題 名：‘佐賀果試 35 号’へのシンクロトロン光照射による‘かいよう病’抵抗性個体の作出
- ・共同研究先：佐賀県果樹試験場

(イ) 県外利用の開拓

○研究成果報告会の開催

佐賀大学や九州大学等と関係機関と連携し、「第 16 回九州シンクロトロン光研究センター研究成果報告会」を開催し、県内外へ研究センター活動を広く発信し、利用促進につなげた。

主要行事名	会 場	開催日	参加者数
第 16 回九州シンクロトロン光研究センター研究成果報告会	サンメッセ鳥栖 (ハイブリッド開催)	8 月 5 日	100 人

○首都圏で開催される国際見本市への出展

主要行事名	会 場	開催日	参加者数
nano tech2023	東京ビッグサイト	2 月 1 日 ～ 2 月 3 日	(全体来場者数) 40,170 人 (ブース名刺交換) 96 人

## ウ 施設設備の整備・高度化

平成 18 年 2 月の開所以来 16 年を経過し、機能低下が発現している光源加速器やビームライン、庁舎設備等の維持修繕、整備（高度化）を実施した。

## エ 利用者への支援

ホームページよりユーザーからの利用相談を受け付け、利用手続きの方法、技術的支援、測定に関する疑問点（測定方法、持込試料、測定に必要な器具等）に対する助言等を行うなど、効果的な測定を行うための支援を行った。

## オ 安全管理

放射線の発生を伴う高エネルギー電子加速器を使用する施設の適正な管理運営を行うため、関係法令の遵守はもとより、放射線障害予防規程などのセンター諸規程の適切な取扱・運用を図るとともに、放射線防護体制の整備に努めながら、施設利用者の放射線障害の発生防止、施設の安全管理に努めた。

## ②シンクロトロン光の研究・普及

### ア 試験研究

シンクロトロン光の光源とその利用に関する研究開発について、関係機関や企業との共同研究に加えて、科学研究費助成事業（日本学術振興会）等の競争的外部資金を活用し試験研究を推進した。また、光源加速器とビームライン実験設備の試験研究は継続して取り組み、その結果は論文誌や学会等で発表した。

### イ 人材育成

大学生や企業の若手研究者を対象としたサマースクールの実施、高校生・高専生徒の見学受け入れなど、体験学習の場を提供した。

また、九州大学と連携し、当研究センターの研究員が同大学の非常勤講師として講義を行い、将来の放射光を支える人材の育成に貢献した。

主要行事名	概 要	開催日	参加者数
SAGA-LS サマースクール	【講義】シンクロトロン光（X線）を用いた分析手法の基礎 【実習】SAGA-LS ビームラインでの実験を体験	8月24日 ～ 8月26日	5人

## ウ 広報啓発

### (ア) 研究成果発信

研究活動については、他機関ビームラインにおける研究成果を含めて、前述の「第 16 回九州シンクロトロン光研究センター研究成果報告会」を開催し、県内外へ研究センター活動を広く発信した。また、公開可能な利用課題については、利用状況や研究成果をホームページ上で紹介するとともに、センターの自主研究成果等については、国際・国内学会、論文誌で積極的に発表した。

(イ) 普及活動

利用者の確保に向けて、積極的にセンター利用のPRを行った。

- ・施設見学会-利用支援セミナー（前述）
- ・首都圏で開催される国際見本市への出展、PR（前述）

(ウ) 広報活動

施設概要、利用手続き、運転状況、研究成果等の最新情報をホームページ、パンフレット及び利用の手引き等で発信したほか、ウェブマガジンによる利用情報や施設情報など、わかりやすく、親しみやすい記事で情報発信を行った。

このほか、県民の施設への理解を深めるため、随時施設見学者の受入れを行い、研究センターの最先端の科学技術を体験していただく「一般公開」も実施した。

一般見学者数：延べ 885 人、一般公開来場者数：196 名

**【指標】**

**1 活動指標：**

① 県有ビームライン利用の確保（施設の利活用と利用事例の創出）

利用件数 170 件  
利用時間 3,600 時間

② 産業利用コーディネート活動（県内利用の確保）

県内利用件数 50 件  
企業等訪問先数 50 社  
新規利用開拓件数 10 件

**2 成果指標：**

- ・シンクロトロン光を活用した産業利用事例の創出
- ・次世代のモノづくりにつながる先端技術や新製品の研究・開発を行う企業等の増加

**【評価】**

**1 活動指標に対する評価**

① 県有ビームライン利用の確保（施設の利活用と利用事例の創出）

利用件数 153 件  
利用時間 2,872.0 時間

② 産業利用コーディネート活動（県内利用の確保）

県内利用件数 48 件  
企業等訪問先数 106 先  
新規利用開拓件数 8 件

県有ビームラインの利用は、県内・県外利用とも過去最高の実績となった令和3年度と比較し、利用時間数は減少したものの、県内利用の件数は同水準を維持している。

さらに、県立施設として県内産業に貢献し、産業利用での研究発現を目指していくため、利用制度（区分）及び料金の見直し・改定を行った。

佐賀県の承認を得て、2023年度より新たな利用制度の運用を開始し、引き続き全国の多様な利用者に対する支援を行いながら、県内関係機関等とも連携し、県内の利用促進を図るとともに産業振興に貢献していく。

## **2 成果指標に対する評価**

- ・シンクロトロン光を活用した産業利用事例を創出
  - 県試験研究機関等と共同で積極的に地域産業の課題解決に対する取組を行っており、引き続き産業界や大学と連携して、課題を科学的に解明するなど、産業振興に貢献していく。
- ・次世代のモノづくりにつながる先端技術や新製品の研究・開発を行う企業等の増加
  - シンクロトロン光を活用した基礎研究や応用研究の支援、学術研究の推進、コーディネータによる県内企業の訪問活動や包括利用制度の運用等により、次世代のモノづくりにつながる技術の高度化や高品質化に向けた研究開発を促進し、県内の新規利用を開拓した。



## 6 農林水産物、加工食品等県産品の販売強化や販路開拓に関する支援 (公5)

《担当部署：さが県産品流通デザイン公社》

### 【事業の趣旨】

地域産業の振興を図るため、県産品（農林水産物、加工食品等）を扱う県内中小・零細事業者等を支援して県産品の販売促進を行うことを目的としている。

### 【事業の構成】

本事業は次の事業から構成される。

- (1) 県産品情報発信力強化事業
- (2) 県産品情報発信拠点運営事業
- (3) さが園芸 888 マッチング支援事業
- (4) 大都市圏販売力強化支援事業
- (5) 物産振興支援事業
- (6) 県産品販売支援事業
- (7) 県産品海外リサーチ・アンド・トライ事業
- (8) 香港エリア・東南アジア輸出支援体制強化事業

### 【公5個別事業の内容】

#### (1) 県産品情報発信力強化事業

[24,680千円／佐賀県補助金]

#### 【目的】

佐賀県産品の販売促進を目指し、大都市圏の一般消費者をメインターゲットとして、継続的に情報発信を行うことにより、県産品の認知度及び評価の更なる向上を図る。

#### 【実績】

佐賀県産品の認知度および評価向上を図るため、HPやSNS、メディアを活用した情報発信を行った。また、バイヤーや消費者に向けたWEB商談会を実施した。

#### ①メディア等による情報発信

佐賀県産品の認知度および評価向上を図るため、HPやSNS、メディアを活用した情報発信を行った。また、バルーンフェスタへのブース出展を実施した。

##### ○HPやSNSなどを活用した情報発信

定期的な商品紹介やイベントの投稿と合わせて、sagair、SAGA MADO等の商品訴求のためのプレゼントキャンペーンを計5回実施。

SNS「さがびん」では、SNSにおけるショート動画の流行によるTikTokの隆盛に伴い、Instagramの投稿をショート動画に切り替え、TikTokも新たにアカウントを開設し運用した。

SNS「さがびん」のフォロワーはTwitter6.7万人、Instagram8,748人、TikTok1,786人となっている。

公社発信のプレスリリースをリリース配信サービス「PRTIMES」を通じて29本配信を行い228件の媒体（ウェブ213件、新聞7件、テレビ6件、ラジオ2件）に掲載された。

## ②ライフスタイル提案

- ・ライフスタイルリーフレット作成 2,000部
- ・東急ハンズ銀座店POP UPの出展（2022年8月10日～9月25日）  
16社169アイテム（コスメ、陶磁器、食品）
- ・大阪ギフトショーへの出展（2022年9月15日～16日）  
29社111アイテム（食品・陶磁器・コスメ）  
直接名刺交換数107名、名刺ボックス投函151名、引合数4件
- ・東京インターナショナルギフトショーへの出展（2023年2月15日～17日）  
22社99アイテム（食品・陶磁器等）  
直接名刺交換数109名、名刺ボックス投函111名、  
ギフトショー後（3月31日現在）、約20件が商談中となっている。

### 【指標】

区分	項目	目標	実績
成果指標	PRTIMES 経由の記事掲載	150件	228件
	ホームページPV数	10万PV	11.2万PV
	さがぴん SNS フォロワー	5,000人増	6,034人増

### 【評価】

- ①目標に対して計画的に施策を実施し結果に繋げることが出来た。
- ②ギフトショー出展により、POP UP出店の提案や、商談につながった。  
今後は、商品を定番で設置してもらうなど、成約に結び付く展開を考えていく必要がある。

## （2）県産品情報発信拠点運営事業

[69,112千円／佐賀県補助金]

### 【目的】

コムボックス佐賀駅前の観光・県産品情報発信拠点「SAGA MADO」に、地元客をはじめ、観光客やビジネス客等呼び込むことと併せて、上質な県産品に触れてもらうこと、県産品や観光資源など佐賀県の情報に触れてもらうこと、それらの情報を広く発信してもらうことにより、「佐賀県」の県産品をはじめとする認知度及びプレゼンスの向上を図る。

### 【実績】

県産品情報発信拠点である「SAGA MADO」は、令和4年度4月～3月の来場者延べ人数は、197,204名に達した。

①県産品の加工食品や工芸品を厳選し販売・展示

- ・取引事業者 75 社、取扱商品数 630 点強を販売・展示

②県産品の POP UP や PR イベント等の実施

- ・店舗での POP UP、イベントを 28 回開催  
店舗でのイベント（さかの和菓子と新茶 POP UP／東馬窯×綿島康浩陶工房  
\_夏の手仕事展／佐賀市北部観光フェア-ふみや POP UP - /佐賀・長崎デス  
ティネーションキャンペーン／バルーンフェスタ×唐津くんちフェア／他  
23 件)

③情報発信拠点として県産品やイベントの情報発信

- ・メディア記事～新聞 5 件、WEB メディア 313 件
- ・ラジオ番組「NBC 佐賀ラジオキング～SAGAMADoing!」毎週土曜日 11 時
- ・SNS (Instagram・Twitter・Facebook) での情報発信

④AI カメラ連動レジ等のデジタル技術を実装し、県産品の各事業者へアドバイ  
スを含めたフィードバックを実施

【指標】

区 分	項 目	目 標	実 績
活動指標	SNS での情報発信件数	650 件	683 件
	事業者へのフィードバック数	50 件	66 件
成果指標	SAGAMADO の利用者数	600 人／日	(参考 559 人／日)
	SNS フォロワー	2,500 人	2,983 人

【評価】

令和 5 年 2 月から、委託していた SAGA MADO 運営をさが県産品流通デザイン公  
社で直接行っており、民間のノウハウを生かしながらの営業が継続できている。

また、AI カメラ連動レジ等のデジタル技術を実装し、県産品の各事業者へアド  
バイスを含めたフィードバックを実施した。

観光客が戻りつつあるため、今後はさらに商品力向上等に努め、集客アップに  
つなげていく。

(3) さが園芸 888 マッチング支援事業

[15,640 千円／佐賀県補助金]

【目的】

さが園芸 888 運動と連動し、園芸生産者と実需者や消費者との懸け橋となる  
マッチングプロジェクトに取り組み、新規栽培や面積拡大に対応した販売先の確  
保（出口対策）、高単価での取引の推進を図る。

## 【実績】

### ①加工・業務用野菜のマッチング支援

上半期は県内の農業生産状況・需給情報の把握に注力し、県流通・貿易課、園芸農産課を始め、県振興センター6か所、JA さが・唐津・伊万里等4か所、キーマン農家20軒、企業10社を訪問し、生産概況やマッチングに関する要望をヒアリング。

農家要望に加え、各種統計データ、エキスパートインタビュー（仲卸・小売り）により、13種の候補品目の情報を整理し、全体議論した判断軸を基に戦略品目を玉ねぎ・レンコン・ブロッコリーの3つに絞り込み。

下半期は、玉ねぎ・レンコン・ブロッコリーの個別品目グループを立ち上げ、それぞれ農家・企業に参画いただき、グループ毎に運営し、マッチングを行った。

- ・商談件数：40件
- ・参加事業者数：14社
- ・成約件数：16件

### ②唯一無二こだわりの野菜等マッチング支援

#### ・食べチョク生産者支援キャンペーン

生産者15名に対して、食べチョクへの生産物の出品サポートに加え、商品の梱包・発送に関する個別アドバイスや都内マルシェでの佐賀県産品の魅力発信、食べチョクサイト内での500円割引キャンペーンなどを実施。

#### ・ポケットマルシェ佐賀いちごマルシェ

リアル店舗での販売からオンライン購入に繋げるテストマーケティングを産直ECスマホアプリ「ポケットマルシェ」と企画。若いファミリー層が多く住む神奈川県川崎市溝の口にある商業施設「マルイファミリー溝の口」にて佐賀のいちご5品種を集めた「佐賀いちごマルシェ」を2月15日～21日に開催。

## 【指標】

区分	項目	目標	実績
活動指標	商談件数	20件	40件
	参加事業者数	10社	14社

## 【評価】

初年度立ち上げながら、作物においては佐賀県（流通・貿易課、園芸農産課各振興センター）と密接に連携を取り情報収集、売り先については、委託先と新規開拓に取り組んだことで、目標を上回る結果となった。

#### (4) 大都市圏販売力強化支援事業

[37,782 千円／佐賀県補助金]

##### 【目的】

県内事業者の企画力や商品開発力の向上、バイヤーとのマッチング機会の創出、新たなチャネル開拓及び営業フォローなどの支援を行うことにより、県産加工食品の大都市圏への販路開拓及び販路拡大を図る。

##### 【実績】

- ① 専門家による実践的なブラッシュアップ支援、パッケージデザイン等の改良を行うリ・デザイン支援、衛生管理支援、個別相談会の実施
- ② 小売・卸のバイヤー等とのオンラインを活用した商談会の開催、首都圏や福岡都市圏での展示商談会への佐賀県ブースの出展
- ③ 卸事業者（問屋）の機能（営業・商品管理・物流等）を活用した県産品の提案
- ④ 大都市圏の量販店での県フェアの実施やインターネット通販サイトでの県産品の販売

##### 【指標】

区分	項目	目標	実績
活動指標	育成件数	5社以上	5社（光武製菓、山田老舗、宮本邦製菓、古賀製麺、瀬貞製陶所）
	成約件数	900件以上	1,094件

##### 【評価】

全体としては指標を達成。展示会においては方向性を整理し直し、特産品商談会の単県開催から九州最大の展示会への出展にシフトしたことにより、成約件数が伸びた。

#### (5) 物産振興支援事業

[4,268 千円／佐賀県補助金他]

##### 【目的】

百貨店、量販店等で開催される物産展等に県内事業者等を斡旋するほか、大手卸等の取引窓口として佐賀県物産品の販路拡大を図る。

##### 【実績】

- ① 百貨店、量販店等で開催される「九州物産展」や「佐賀フェア」などの企画に積極的な提案を行い、県内事業者の斡旋、広告媒体等による佐賀県産品の認知度向上の取組の実施。
- ② 大手卸等と直接取引のできない県内食品メーカーを対象とした、取引に際しての窓口として受発注・請求・支払等の業務の実施。また、EC販売やアンテナショップ企画等への積極的な提案を実施。

**【指標】**

区 分	項 目	目 標	実 績
活動指標	物産展等のイベントやECへの積極的な参加	45 件	63 件
成果指標	新規出店者数	10 社増加	25 社増加

**【評価】**

県産品の販売・斡旋等の取引窓口の機能を有効活用し、県産品の販路が着実に広がった。

**(6) 県産品販売支援事業****[37,693 千円／佐賀県補助金・手数料他]****【目的】**

九州佐賀国際空港にテナントショップを設置し、県産品の展示・販売、情報の提供を行うことにより、認知度向上、販売促進につなげるとともに、佐賀県のプレゼンスの向上を図る。

**【実績】**

国内便の復便にともない空港利用客も戻りつつあり、テナントショップの利用客や売上においては、各種施策も相まって昨年度を大きく上回った。2月に「県産品マーケティングDX強化事業」にて導入した、AIカメラとPOSの連動システムで分析した購買動向を事業者へフィードバックした。

## ○主なイベント及びフェア実績

伊万里・有田焼伝統工芸士会作品展（5月）/父の日フェア（6月）/白石町スイートコーンまつり（6月）/夏の涼特集（6月）/佐賀市北商工会地域ブランド「ふみや」逸品販売会（7月）/スプリング・ジャパン成田～佐賀線が「サウナ路線」企画プレゼントキャンペーン（8月）/出張おさかな村 秋の収穫祭（9月）/白石町農産物・農産加工品等販売会（11月）/鹿島市マルシェ（1月）/バレンタイン好適品特集（3月）

**【指標】**

区 分	項 目	目 標	実 績
活動指標	販売促進施策の件数	15 件	30 件
成果指標	売上目標	70,000 千円	59,303 千円

**【評価】**

年度前半は運航減便が続いていたこともあり、売上目標は下回ったものの、県産品の良さや質の高さ、また、その魅力が九州佐賀国際空港を利用する方に伝わり、県産品の販売促進につながった。

## (7) 県産品海外リサーチ・アンド・トライ事業

[15,459千円／佐賀県・国補助金]

### 【目的】

県産品輸出可能性等調査事業のフォローアップ等を実施し、県産品の海外への販路拡大の促進を図る。

### 【実績】

- ①輸出可能性や輸出量拡大が期待できる地域や品目について、輸出の実現や商品の定番化のための取組の実施
  - ・米国向け佐賀県産酒類輸出促進事業の実施（国税庁補助金活用事業）  
（5月～2月）（各蔵元1,500本以上の受注を達成）
  - ・マレーシアにおけるいちごさん販促イベントの実施（1月）  
（マレーシアへの佐賀県産いちご輸出約1.6トンを実現）
  - ・タイ向けいちご輸出取組に向けた生産者支援（10月～3月）  
（タイへの佐賀県産いちご輸出約1.2トンを実現）
  - ・香港における佐賀県フェアの実施（11月、12月）
  - ・韓国における佐賀県産酒類販促イベント及び商談会の実施（3月）  
（商談継続中：2件）
- ②新たな国や地域、重点品目以外の品目に係る輸出可能性等調査の実施
  - ・ベトナムにおける青果物輸出にかかる可能性調査等を実施（7月、1月）  
（ベトナムへの温州みかん初輸出を達成）

### 【指標】

区分	項目	目標	実績
成果指標	新規輸出入事業者の発掘	5社以上	5社：ベトナム1社（輸出事業者）、マレーシア2社（輸入事業者）、台湾（輸入事業者）1社、フランス（輸入事業者）1社

### 【評価】

輸出可能な品目があった国・地域に対して、実際に商品を流通することになる輸出入事業者を目標通り確保できたことで、今後さらに品目や商品数を拡大していく上で要となる関係性が構築できたとともに、商品についてのフィードバックをもらい、それを事業者に伝達することで商品開発のきっかけとなった。

## (8) 香港エリア・東南アジア輸出支援体制強化事業

[27,780千円／佐賀県補助金]

### 【目的】

県産品の最大の輸出仕向地である香港エリアにオフィス機能を置くことによ

り、機動的かつ柔軟に県内事業者を支援できる体制を構築するとともに、香港を中心として中国や東南アジアでの販促活動を強化し、香港エリア・東南アジアへの県産品の輸出促進を図る。

### 【実績】

#### ①香港流通レップの設置（通年）

- ・香港現地情報の収集
- ・香港輸入卸業者、小売業者、シェフ等との関係構築
- ・佐賀県内事業者の香港における営業活動等の支援

#### ②佐賀酒県産品中国販路拡大支援事業

- ・中国国内の酒輸入業者とのマッチング、商品開発支援等（通年）6歳  
(取引成立：2件、商談継続中：2件)
- ・武漢における佐賀県日本酒新酒発表会の実施（6月）  
(中国初進出銘柄含む5歳元)
- ・中国国内における各種展示会出展、販促イベント開催、商談会の実施  
(海南省昆明（8月）、四川省成都（11月）、湖南省長沙（9月）)
- ・長沙エリアにおける佐賀酒試飲会及び商談会の実施（7月、1月）  
14件（取引成立：8件、商談継続中：6件）
- ・深圳エリアに試飲会及び商談会の実施（3月）（取引成立：5件）
- ・越境ECによる中国国内への佐賀県産販売促進の取組（8月～3月）

③国内外の輸出入事業者から興味が示された県産品について、随時県内事業者訪問アテンドやマッチング及び商品提案に取り組みながら、県内事業者の輸出拡大及び輸出開始に向けた取組を支援した。

### 【指標】

区分	項目	目標	実績
成果指標	新規参入（新品目含む）を達成する県内事業者数	10件以上	佐賀県フェア参加事業者のうち25社が新規参入、 中国向け日本酒 2銘柄新規輸出

### 【評価】

佐賀県フェアを実施することにより、輸出にはじめて取り組む事業者が第一歩を踏み出す機会となった。

また、継続的に支援することにより、現地輸入事業者との信頼関係が構築され新たな商品の開発の打診を受けるなど、着実に輸出量を増加させながら輸出経験を積み重ねている。



## 7 その他県産品販売支援に関する支援（他2）

《担当部署：さが県産品流通デザイン公社》

### 【他2の個別事業の内容】

#### （1）関係協議会等との連携推進事業 [8,866千円\*／自主・佐賀県補助事業]

県産品の販路開拓、情報発信など販売促進について、関係協議会（県・市町・関係団体等）等と連携、協力して推進するとともに、協議会事務局の運営を行った。

※上記決算額は当該協議会自体の決算額は含まず、事務局運営に係る人件費等。

#### ＜構成団体＞

農業団体、関係市町、県、当財団 等 12機関 事務局：当財団、県

#### ①佐賀県農林水産物等輸出促進協議会

##### 【目的】

海外市場における佐賀ブランドの確立に取り組み、高品質な県産農林水産物等の輸出促進を図る。

##### 【実績】

ア. 産地PR・海外バイヤーの招聘

○海外の輸入業者や販売店舗関係者、国内の輸出業者等の招聘

イ. 海外販売促進活動

○海外の小売店、飲食店等でのプロモーション

○販促資材の作成

○メディア広告

○見本市等での試食宣伝PR活動

ウ. 海外市場開拓調査

エ. 輸出人材育成研修

オ. 佐賀牛EU市場参入に向けた市場調査

##### 【評価】

「アフターコロナ」へと環境が移行していく中で、関係団体と連携し、積極的に渡航し、現地での販売促進を実施することにより、現地関係者とのコミュニケーションを密にし、改めて輸出促進に向けた共通認識を持つことができた。

#### ②佐賀県酒類輸出促進協議会

##### 【目的】

海外市場における佐賀酒ブランドの確立に取り組み、高品質な佐賀県産酒類の輸出促進を図る。

### <構成団体>

佐賀県酒造組合、県、ジェトロ佐賀、佐賀県商工会議所連合会、  
佐賀県商工会連合会、当財団 計6機関 事務局：当財団

### 【実績】

ア. 佐賀県産酒類に係るPR・海外バイヤーの招聘

○海外の輸入業者や販売店舗関係者、国内の輸出業者等の招聘

イ. 海外販売促進活動

○海外の展示会、見本市、小売店、飲食店等での試飲宣伝PR活動

○販促資材の作成

○海外レストラン等の酒バイヤーを対象とした商談会の開催

### 【評価】

フランス、香港において一般消費者及び輸出入事業者、酒類小売店関係者、  
レストラン関係者、インフルエンサー等を対象としたイベントを開催し、佐賀  
酒の認知度向上及び販路拡大につながった。

## 8 収益に関する事業（収1）

《担当部署：さが県産品流通デザイン公社》

### 【事業の趣旨】

ふるさと納税に関する事業及び農林水産物、加工食品等県産品の販売事業により収益向上を目指した。

### 【事業の構成】

本事業は次の事業から構成される。

#### （1）ふるさと納税に関する事業及び県産品の販売事業

[8,518 千円／売上等収入]

##### 【目的】

佐賀県ふるさと納税の返礼品に関わる受発注業務や、事務所等における県産品の販売を通し、収益の向上を目指す。

##### 【実績】

###### ア 佐賀県ふるさと納税お礼の品の管理発送等に関する事業

ふるさと納税制度を利用した寄付者に対し、お礼の品（県産品）の受発注から商品到着までの管理確認及び支払業務等を行った。

○令和4年度実績：発送件数 2,572 件

受取手数料収入 3,462,588 円

###### イ 県産品の販売に関する事業

さが県産品流通デザイン公社の事務所内において県産品の販売を行った。

○令和4年度実績：販売等手数料収入 1,443,159 円

仕入商品売上収入 3,286,765 円

##### 【指標】

区分	項目	目標	実績
活動指標	ふるさと納税取引事業者数	拡大	8社増加
成果指標	ふるさと納税新規商品	30品目増加	45品目増加

##### 【評価】

ふるさと納税では品目の増加は指標を達成したが、主力商品である剣先イカが不漁であったことと、昨年度メディアで取り上げられたことによる高い実績をカバー出来なかった。事務所内での販売は佐賀長崎 DC キャンペーンのプレゼント商品などの大口注文も収益拡大に貢献した。

## 第3 庶務事項

### (1) 理事会

年月日	内 容		
R4. 4. 1	第1回理事会 (書面)	第1号議案 第2号議案 第3号議案	常務理事(業務執行理事)の選定の件 評議員候補者の推薦の件 評議員会の招集の件
R4. 5. 24	第2回理事会 (書面)	第1号議案 第2号議案	評議員候補者の推薦の件 評議員会の招集の件
R4. 6. 10	第3回理事会	第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案 報告事項	令和3年度の事業報告、計算書類及びそれらの附属明細書並びに財産目録の承認の件 令和4年度収支予算の変更の件 理事の任期満了に伴う理事候補者の推薦の件 評議員会の招集の件 代表者及び業務執行理事の自己の職務執行状況報告
R4. 6. 29	第4回理事会	第1号議案 第2号議案	代表理事及び業務執行理事の選定の件 重要な使用人の選任及び理事に使用人職務を委嘱する件
R4. 9. 15	第5回理事会 (書面)	第1号議案	令和4年度事業計画及び収支予算の変更の件
R4. 12. 8	第6回理事会 (書面)	第1号議案	令和4年度事業計画及び収支予算の変更の件
R5. 3. 2	第7回理事会	第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案 報告事項	令和5年度事業計画及び収支予算の件 一時借入金最高限度額の件 役員等賠償責任保険契約の件 評議員会の招集の件 代表者及び業務執行理事の自己の職務執行状況報告

## (2) 評議員会

年月日	内 容		
R4. 4. 1	第 1 回評議員会 (書面)	第 1 号議案	評議員の選任の件
R4. 5. 30	第 2 回評議員会 (書面)	第 1 号議案	評議員の選任の件
R4. 6. 29	第 3 回評議員会	第 1 号議案 第 2 号議案	令和 3 年度決算の計算書類及びそれらの附属 明細書並びに財産目録の承認の件 理事の任期満了に伴う改選の件
R5. 3. 14	第 4 回評議員会	第 1 号議案	令和 5 年度事業計画及び収支予算の件